

第12回 奈良大学公開講座

# 夏の夜話

## 2021

受講料  
無料

# コロナ禍の 心理と行動

7/2 <FRI>

消費行動からみたコロナ禍  
における人々の心理

社会学部 心理学科 教授 與久田 巖

7/9 <FRI>

食の問題を考える

社会学部 総合社会学科 教授 領内 修

7/16 <FRI>

コロナ禍における  
メンタルヘルス

社会学部 心理学科 教授 武本 一美

会場 奈良市中部公民館

奈良市上三条町23-4

開講時間 18:00~19:30 (開場17:30)

申込方法 往復はがき・FAXまたは公益財団法人奈良市生涯学習財団ホームページの「参加申込」フォームによる申し込み。①講座名「夏の夜話」、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤年齢、⑥電話番号(FAX)を記入。下記の受付期間中にお申し込みください。

※1回の申し込みで全3回分の受付です(定員に満たない場合は引き続き受付)。  
※はがき一枚に一人限り。  
※FAX番号のない方はFAXでの受付はできません。

●申込締切:令和3年6月23日(水)必着

〈新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となる場合があります。〉

定員 60人 ※申込み多数の場合は抽選

申込・お問い合わせ先

(公財)奈良市生涯学習財団 中部公民館

〒630-8228 奈良市上三条町23-4

〈月曜祝日休館〉

TEL:0742-26-6506/FAX:0742-26-3263

URL: <http://manabunara.jp>

主催:  奈良大学  
NARA UNIVERSITY

公益財団法人 奈良市生涯学習財団

協賛: 

CROSS OVER

# コロナ禍の心理と行動

新型コロナウイルスの感染爆発は世界中を恐怖と不安のどん底に突き落としました。当初得体の知れないウイルスへの感染リスクに自らを曝しながら救命医療処置を行ってくださる医療関係者の方々への偏見や差別も起こりました。

人は人と連携することで社会を形成し、社会の中でその命を全うできます。連携を寸断するものが偏見や差別です。

今回の奈良大学社会学部の夏の夜話では「コロナ禍の心理と行動」と題して、與久田教授(産業社会心理学)からは「消費行動と人の心理」、領内教授(経営学)からは「食に関する問題」、武本教授(医学)からは「コロナ禍のメンタルヘルス」について、コロナ禍で人の心のあり様がどのように各々の問題に影響しているか、社会・経済・医療の観点から講演いたします。

7/2 <FRI>

## 消費行動からみたコロナ禍における人々の心理

社会学部 心理学科 教授

與久田 巖

我々の日常生活は新型コロナウイルスの感染拡大によって一変しました。現在もコロナ禍は続き、先の見通せない状況にあります。そのようななか、感染防止関連商品の需要が伸び、新商品が開発されたり、個人宅配の売上が増加したりするなどの現象がおきています。

ここでは、何の消費が減少し、また何の消費が増加したのか、そして新たに生まれた需要は何なのか、消費行動を通してコロナ禍における人々の心理について考えていきます。

7/9 <FRI>

## 食の問題を考える

社会学部 総合社会学科 教授

領内 修

私のゼミ生(西野海晟さん)の本年卒業論文「フードロスを考える」と私の研究テーマ「SDGs(持続可能な開発目標)」、そして奈良市と奈良大学が包括連携協定に基づき進めるゴミ減量化プロジェクトに係る食品ロス削減啓発事業とも相まって、今回の演題「夏の夜話 食の問題を考える」になりました。

様々な事件・事故・出来事が、次から次へと起こる世の中で、我々日本人が「絆」同様に大事にしたい「モットイナイ精神」をもとに「食」を通じてロスを減らし、飢餓を避け、SDGsの一つを達成できるようにしましょう。

7/16 <FRI>

## コロナ禍におけるメンタルヘルス

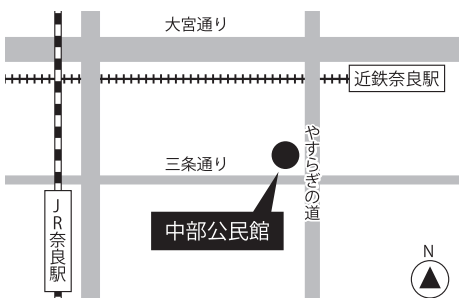
社会学部 心理学科 教授

武本 一美

昨年来の新型コロナウイルスの流行により、たび重なる緊急事態宣言の発出と自粛の要請で、多くのかたが息苦しい生活を続けてこられたと思います。

こうした状況がメンタルヘルスに悪影響を与えるだろうというのは当然の予想で、そのため厚生労働省はじめいくつもの組織や研究者がコロナ禍でのメンタルヘルスについての調査を行っています。

それらの調査結果を踏まえて、コロナ禍がメンタルヘルスに及ぼした影響と良好な精神状態を保つための対策を考えていきたいと思っています。



### 会場へのアクセス

近鉄奈良線「近鉄奈良駅」下車、やすらぎの道を南へ徒歩5分

(注)駐車スペースに限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

# 夏の夜話2021